

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403012

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	2 交通安全対策の推進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	交通安全対策特別交付金事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	10 建設水道課	
事業指標	町道の区画線塗装、交通安全資機材の購入		#N/A	
事業目標	区画線塗装53,500m、スノーポール等購入600本	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	2 ⇒	
住民協働		関係個別計画名	2 雄武町交通安全計画	

全体計画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	交通安全対策特別交付金により、道路環境の整備を図ることを目的とし、車両通行により視認しにくくなった区画線の塗装や、スノーポール、標識、カーブミラー、デリネーターの設置を行う。 ※建設水道課土木管理係にて発注。	区画線塗装10,700m ※全体18,500m スノーポール等購入120本 ※全体290本	区画線塗装10,700m ※全体18,500m スノーポール等購入100本 ※全体270本	区画線塗装10,700m ※全体18,500m スノーポール等購入100本 ※全体270本	区画線塗装9,000m ※全体18,500m スノーポール等購入100本 ※全体270本	区画線塗装9,000m ※全体18,500m スノーポール等購入180本 ※全体270本	
	事業費(千円)	5,700	1,300	1,200	1,200	1,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	5,700	1,300	1,200	1,200	1,000	
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	0						
実 績 事 業 費	事業費(千円)	5,850	1,300	1,200	1,200	1,000	
	財源内訳						
	国庫支出金	5,366	1,114	1,086	1,158	1,008	
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	484	186	114	42	142		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)						
	交通安全対策特別交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原資とし、道路環境の整備を図り、交通事故の減少に寄与しているものである。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原資とし、道路環境の整備を図り、交通事故の減少に寄与しているものである。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原資とし、道路環境の整備を図り、交通事故の減少に寄与しているものである。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原資とし、道路環境の整備を図り、交通事故の減少に寄与しているものである。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連(継続有り)	年度目標値	塗装10,700m、ポール購入120本	塗装10,700m、ポール購入100本	塗装10,700m、ポール購入100本	塗装9,000m、ポール購入100本	塗装9,000m、ポール購入180本
	年度達成率	100%	100%	100%	100%	115%	
	全体達成率	23%	44%	65%	82%	103%	
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	交通安全対策特別交付金事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	区画線塗装総延長、スノーポール購入本数								
【抱える課題やニーズは】	道路環境に起因する問題が交通事故発生要因のひとつとなっている	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	路側帯やセンターラインの塗装、スノーポールや標識の設置により、道路環境を整備する	① 区画線塗装実績延長/区画線塗装計画延長	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>9000 m</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>9000 m</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	9000 m	実績値	9000 m	達成度	100.0 %
目標年度	平成24年度										
目標値	9000 m										
実績値	9000 m										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	交通事故の減少	② ポール購入実績本数/ポール購入計画本数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>180 本</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>180 本</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	180 本	実績値	180 本	達成度	100.0 %
目標年度	平成24年度										
目標値	180 本										
実績値	180 本										
達成度	100.0 %										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	①道路区画線の塗装	町道をパトロールして区画線が薄くなり視認しにくい場所を確認するとともに、交通量を勘案したうえで塗装路線を選定し、区画線塗装を行った。									
	②スノーポールの購入	冬期間に路肩に設置するスノーポールについては除雪作業等による損傷があるため、毎年購入して更新を行っている。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	当事業の財源である交通安全対策特別交付金は、道路環境整備を目的としたものであり、また町道の環境維持は道路管理者である町が行うべきものである。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	近年の交通事故件数は低い水準で推移している。また、事業量についても破損や傷み具合に応じて実施しており、極端な増減は無い。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	道路延長は伸長傾向であるが、道路の交通量や傷み具合を勘案して整備箇所を優先順位を設けるなど、原資である交通安全対策特別交付金を有効活用してコストに見合った効果が得られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

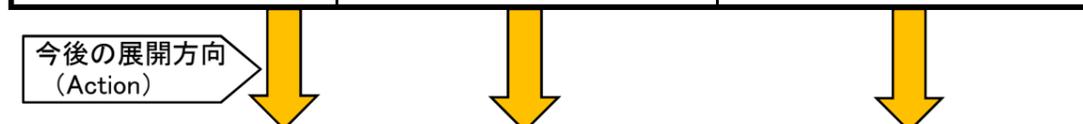
公平	判断の理由	道路は不特定多数が利用する公共性の高い社会基盤であることから、公正性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおりに事業が行われ、良好な道路環境が維持された。		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	
	円滑な交通の確保と交通事故事故防止のため、今後も計画どおり必要路線に対して整備を継続する。	

※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止